

BMS 11月例会のご案内

—131th Bungeiken Metropolis Seminar—

🍄 2026年11月1日(日)9時30分～12時30分

🍄 大東文化会館 404研修室 東武東上線「東武練馬」駅より歩4分。

オンライン参加可 

🍄 テーマ:12月・1月民話教材の授業のポイント

「たぬきの糸車」(光村1年)、「かさこじぞう」(東書・教出2年)、「三年とうげ」(光村3年)と12月・1月は各社とも民話教材が配当されています。語りの文芸(口承文芸)の民話は、反復(《類比》)と《対比》でイメージと意味が強調され、叙事と会話を中心に語り手の《外の目》で語るのが一般的です。民話は、働く民衆の思想・感情がこめられたものであり、権力・権威に対して、何らかの形で抵抗し、批判し、笑い飛ばし、闘いを挑む人間を描いています。教材の特質、ことばの確かさをふまえ、豊かで深い民話教材の読みの授業づくりをめざします。皆様の参加をお待ちしております。

①「**たぬきの糸車**」(岸なみ再話 光村図書出版1年)

②「**かさこじぞう**」(岩崎京子再話 東京書籍・教育出版2年)他

報告・資料提供:上西信夫(東京文芸研 元千葉県小学校)

③「**三年とうげ**」(李錦玉再話 光村図書出版3年)

報告:山中吾郎さん(東京文芸研 大東文化大学)

🍄 **参加申込**(ハイブリッド方式)リアル参加は先着40名とさせていただきます。

申し込みについては、リアル参加の方も下記ピーティックスからの申し込みをお願いします。リアル参加・オンライン参加とも500円

参加申し込みは <https://bms202611-bungei-tokyo.peatix.com/> から

(一週間前には申し込みができるように準備をします。)

【文芸研東京学習会(BMS)連絡先】上西信夫 ☒→nobu.uenishi@outlook.jp

次頁  **信天翁通信** ↓

🍁 国語やバイよ！～ものの見方・考え方を育てる国語の授業～ 2026/10/06 ^{アホウドリ} 信天翁記

東京文芸研学習会(BMS11月例会)のご案内

—131th Bungeiken Metropolis Seminar—



📷 葛飾区都立水元公園のメタセコイア——佐藤幸雄さんのジョギングコース

🍁 BMS9月例会以降 10月例会まで、東京は毎日雨が降り 37日間連続降雨の記録とのこと。そのためか水道の水が心持ち冷たくなったような気がします。また、井の頭公園の地下水が増し、地上に湧き出し神田川の水嵩も普段より上がっています。10月4日（日）は朝から晴れて久々の秋らしい天気。久我山界隈は稲荷神社の秋祭りの神輿が繰り出されるとのこと。長谷川さんの同僚のYさん、謝花さん、根岸さんも現地参加してのBMS10月例会を大東文化会館＋オンライン（12名のリピータの参加がありました）で実施しました。

🍁 今回のテーマは、10月の説明文教材指導のポイントとして、「しっぽのやくめ」「すがたをかえる大豆」「鳥獣戯画を読む」を上西（東京文芸研 元千葉県小学校）が、「固有種が教えてくれること」を西真由子さん（東京文芸研 湘南学園小学校）が報告しました。文芸研の説明文指導の独自性・先駆性は、(1)ものの見方・考え方（認識方法）の力を育てる (2)読解を超えて認識内容（ものごとの本質）にせまる (3)筆者の読者を相手どった説得の論法に学ぶことを三位一体に追求することです。「しっぽのやくめ」では、問答法・ページどり・文型のくり返し・比喩の《仕組》《仕掛》に乗りながら、《観点》《比

較》《理由》《仮定》の認識方法を駆使して、食べること・身を守ることという動物にとって生きることとかかわって大事な〈しっぽのやくめ〉(本質・価値)を認識することができる「いい説明文」であることの確認と全体のオリエンテーションがありました。「すがたをかえる大豆」「鳥獣戯画を読む」も同様に認識方法・認識内容・説得の論法を切り口に展開する文芸研の説明文指導のあり方のポイントが報告されました。

「固有種が教えてくれること」では、《条件》《相関》の認識方法で認識内容に迫り、7つの資料と文章との対応を読むことはもちろんのこと、①～⑦の資料がすべて説得の論法に成り得ているか——《選択》(効果)の観点からの吟味の必要性が指摘されました。読みの過程を簡略化し言語活動——発展学習としての調べ学習や本文の形式をなぞる書くことへの傾斜に文芸研は批判的立場をとってきましたが、参加者のニーズはその所にあり、そのギャップをどうするか考える学習会の機会となりました。

 11月例会も大東文化会館にてハイブリッド方式で行いますが、リアル参加は**先着 40名**とさせていただきます。申し込みについては、リアル参加の方もオンライン参加の方も下記ピーティックスからの申し込みをお願いします。皆様の参加をお待ちしています。

記

1. 期 日 2026年**11月1日**(日) 9時30分～12時30分
2. 会 場 大東文化会館404 研修室
(東武東上線「池袋」駅より各駅停車で15分、「東武練馬」駅下車歩4分)
ハイブリッド方式 オンライン参加可
3. 内 容 テーマ：12月・1月の**民話**教材の授業のポイント
 ～確かさをふまえた豊かで深い読み～
報告①：「たぬきの糸車」(岸なみ再話 光村図書出版1年)
報告②：「かさこじぞう」(岩崎京子再話 東京書籍・教育出版2年) 他
 報告・資料提供：上西信夫(東京文芸研 元千葉県小学校)
報告③：「三年とうげ」(李錦玉再話 光村図書出版3年)
 報告：山中吾郎さん(東京文芸研 大東文化大学)
4. 主催・参加費・申し込み 東京文芸研／リアル参加・オンライン参加とも500円
 参加申し込みは <https://bms202611-bungei-tokyo.peatix.com/> から
(一週間前には申し込みができるように準備をします。問い合わせ 事務局・西さん)

● 例会後、例会で扱う教材以外の個別の相談にも応じています。事前に連絡をください。カンとセンスとブームの国語の授業からの脱却、教科書会社の指導書・赤刷り・ワークシートに頼らない授業構想力の獲得——視点・形象の相関をふまえた切実な共体験の形成、文芸体験の思想化・典型化の授業づくりをめざします。23 年夏の山口大会、24 年の徳島大会、25 年の千葉大会、今夏の大阪大会、各地の「国語の教室」、講座で初めて文芸研の理論と実践に接し興味をもたれた方、国語の授業づくりに困っている方、深い学びを願っている方、教職をめざしている方、元青年学校受講生の方、各地のサークル例会が開催困難なサークル会員の方々……の参加をお待ちしています。

インフォメーション

▼今年度後半の BMS 例会予定（原則第 1 日曜日）9 時 30 分～12 時 30 分 大東文化会館（最寄り駅は東武東上線「東武練馬」駅、歩 4 分）

- ・ 11 月 1 日（日）大東文化会館 404
- ・ 12 月 6 日（日）大東文化会館 401
- ・ 1 月 10 日（日）大東文化会館 401
- ・ 2 月 14 日（日）大東文化会館 404
- ・ 3 月 7 日（日）大東文化会館 404

※期日・会場は予定です。直前の HP 掲載の BMS 例会案内で確かめてください。

▼BMS11 月例会 11 月 1 日（日）9 時 30 分～12 時 30 分 大東文化会館／テーマ：12 月・1 月の民話教材の授業のポイント～確かさをふまえた豊かで深い読み～

▼全教千葉・松教組合同県教研 11 月 14 日（土）10 時～16 時 松戸市立牧野原小学校 午前中講演：荻上チキさん 午後：分科会 国語分科会で秋山亮介さんレポート

▼明星学園公開研究会 11 月 21 日（土）8 時 45 分～16 時 30 分 詳細は明星学園小学校 HP をご覧ください。

▼創立 40 周年記念聖徳大学附属小学校公開研究会 11 月 14 日（土）9 時 30 分～13 時 30 分 聖徳大附属小学校（松戸市秋山 600） HP に公開研内容・申し込み案内掲載

▽「文芸教育」（西郷竹彦創刊・文芸研編・新読書社刊）139 号 好評発売中 特集

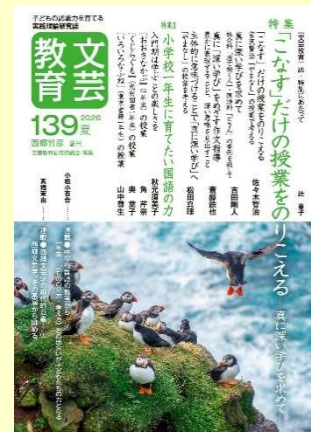
「『こなす』だけの授業をのりこえる一真に深い学びを求めて」／140 号 11 月刊行予定 特集「子どもたちが語り合う国語の授業」各号 1700 円＋税 バックナンバーあります。年間購読をお願いします。

▽光村版・新教科書指導ハンドブック（学年別）発売中／新読書社より各学年 1700 円＋税 セット割引有／この学年でどんな〈ものの見方・考え方〉を育てるかの観点で編集

▽文芸研授業シリーズ好評刊行中！ 第 1 弾「たぬきの糸車」（新読書社）・第 2 弾

「一つの花」・第 3 弾「おおきなかぶ」・第 4 弾「わらぐつの中の神様」・第 5 弾新刊

「サーカスのライオン」／教材分析と授業構想・授業記録がこの一冊に。板書や発問が参考にできて、使いやすい・わかりやすいと好評。入門書として最適です。各 1000 円＋税



文芸研授業シリーズ 新読書社刊

1000 円

「文芸教育」新読書社刊 1700 円

板橋キャンパスと間違えないでね

BMS 会場案内



大東文化会館へのアクセス：池袋駅より東武東上線各停で7 駅（約15 分）、東武練馬駅（大東文化大学前）下車。どの出口からも徒歩2～4 分／学習会会場はK404・401 研修室（40 人収容）、9 時から13 時まで借りています。（山中吾郎さんに尽力いただき、3 月7 日（日）まで予約済み。）今から予定に入れ

てください。エデュカス東京（麹町）より大東文化会館までの所要時間がかかる方もいると思いますが、学習会充実のため引き続き現地参加にご協力ください。

「朝日歌壇・俳壇」より ～子ども・学校・ことば・世相・戦争を詠む～

誕生日の夫の手作りハンバーグ初めて食べるワイルドな味（富山／松田梨子）

大勢の飲み会でただ笑うときあゝわたしいますごく独りだ（流山／汐入音佳）

親友とおとまり会で眠気超えどくどくおどるずっとこのまま（東京都／松廣佑莉）

直島へ部活で向かう夏休み私を迎える瀬戸内の風（大阪／大阪華）

新しいサンダル履いて新しいお互いを知る新婚旅行（富山／松田梨子）

久々に嫁いだ姉と連弾をする日曜日ハイドン日和（富山／松田わこ）

下読みで泣かぬ練習くり返し子らに読み聞かす「かわいそうなぞう」（山口県／庄田順子）

跳ねながら横断歩道の白だけを踏もうとする子国籍問わず（名古屋／百々奈美）

幼な子のことば湧きだすカンブリア爆発のごと盛夏のいのち（船橋／小野口公也）

幼子を抱えた母は放心し片隅にあり広い避難所（豊橋／滝川節子）

放課後の夕日差し込む理科室で明日の実験準備完了（東京都／鳥川健朗）

☆戦争が廊下の奥に立つならばぐっとにらんで教室に入る（つくば／石上徳千代） 渡辺白泉の
「戦争が廊下の奥に立ってゐた」の句への返し

研究の内容我に熱く語る息子大学四年生なり（さいたま／萩野則子）

下の娘(こ)がひとりでミラノへ行くといふこないだ生まれだばつかりなのに（横浜／小林瑞枝）

来るたびにわが書棚から数冊の本を持ち去る本好きの孫（魚沼／磯部剛）

大声で「ばあば」と我をこき使う孫の帰りて一抹寂し（岩出／井端恵理）

教え子の頬打つ刹那の感情に負けし自分を今に忘れず（観音寺／篠原俊則）

☆おとうさん、みてみて、みてて、期限つき噛み締めながらできるかぎり見る（朝霞／小峰拓朗）

☆手術中地震（ない）に襲われ医師たちの患者に被（かぶ）さる姿尊し（観音寺／篠原俊則）

ロバートはヒロシマを訪（と）ひ被爆死の米兵捕虜の伯父に黙禱（東京都／椿泰文）

被爆者をハグせしオバマ原爆が戦争止めたと言い切るトランプ（倉吉／砂原誠子）

サバンナを吹き渡る風夢見つつ日本の酷暑に逝きしライオン（高崎／野口啓子） 多摩動物公園
で飼育されていたメスライオン三頭の死

今よりも先進的な古代日本〈女帝活躍社会〉が在りき（阪南／岡本文子）

被爆せし姉に「姉ちゃん、気味悪か」と言いしを今も悔やむ弟（観音寺／篠原俊則）

炎天に道路工事をする人がファン付きベストに膨らんでいる（日立／加藤宙）

単純に撤去費用が無いだけの火の見櫓（やぐら）が残る集落（相馬／根岸浩一）

朝食後テレビに合わせ黙禱す娘は隣で授乳している（福山／倉田ひろみ）

炎天下ブルーカラーが人間でホワイトカラーがAIと知る（八王子／額田浩文）

ホバリング加速減速急旋回梅雨明けのそらこうもりがまう（盛岡／榎本拓）

大学生二人現れ会場の空気が変わる平和のつどい（神奈川県／神保和子）

久々にグループライン熱を帯び一級下の赤根智子氏（名古屋／甲斐万里子） 名古屋市の旭丘高校、
名古屋大学関係のライングループか

ふるさとのあけびおもへりアリゾナのサボテンの実の滅紫（けしむらさき）に（アメリカ／小守
くるみ）

今もなお目にするミミズのかんぴたん猛烈残暑よいつまで続く（鈴鹿／野間啓司）

蚊に吸われちょっと痩せたと盛り上がる親戚集う孟蘭盆会（うらぼんえ）の夜（岡崎／近藤義孝）

そのほとりにいちょうの寺あり待たされて楽し山手線最後の踏切（東京都／加藤昭弘）駒込
駅近くの開かずの踏切第2中里踏切。2～5分の運転間隔で内回り・外回りだから開かずの踏切に。29年にはなくなる
という

韻踏んで語呂もいい七音だけど心に障（さわ）りぬ男系男子（奈良／山添聖子）
☆逆からの読んでみるべし世論など「死んだ意見だ」ダンケイダンシ（長野県／千葉俊彦）
ワンコイン日用品を釣り上げる生活かけたクレーンゲーム（長崎／池田康廣）
抽斗（ひきだし）のヒジキみたいな綴じ紐は昭和の役場の必須アイテム（横浜／毛涯明子）紙
こよりとともに

星はみな宇宙の孤島さびしさに互（かた）みに光り星座を組める（羽咋／北野みや子）
甲子園に泣き崩れいる球児見て平和日本の尊さを知る（三郷／木村義熙）
高校生に恋を教へてくれし日の「君の名は」憶ひ出して黙禱（東京都／上田国博）岸恵子さん
への追悼歌

戦争で逝きし人らの怨嗟の声終戦の日の遠雷止まず（五所川原／戸沢大二郎）
薄給の息子が行くたび本を買う個人経営の小さな本屋（名古屋／百々奈美）
大雨に地震、台風、酷暑日と今年の夏は天中殺か（大分／新貝友子）
法の支配終わらせるなとつくつくし（鎌倉／保坂たつき）
回天と呼ばれし座棺敗戦忌（岐阜県揖斐川町／野原武）
耳遠くなりし夫婦ゆえお互いに「ねじれの位置」で納得している（つくば／高力栄子）
病室の窓に立ちつつまっ先にあのバーガーを噛まんと思う（垂水／岩元秀人）黄色のMか、緑のMか
八月はまだ渋いだけの〈ふじ〉りんごそれでも熊は二百個も食う（五所川原／戸沢大二郎）
枝豆もトウモロコシも食べ納め夏の畑は秋へと移る（須賀川／近内志津子）今夏もお世話になった
新宿の名曲喫茶のかたすみで五時間過ごせた時代があった（東京都／青木公正）サンドイッチ
食べ放題の喫茶店もあった

「窓」の字を「ウ・ル・ム・心」と書くように窓の景色は胸を潤す（上尾／関根裕治）
国際法我関せずと豪語するトラ遥拝し飽かぬ首相なり（一関／奥山与惣美）
「関連死」などという死のあることが公助の足らざることを表す（観音寺／篠原俊則）
もう既に死語となりしや「これまでに経験したことの無い豪雨」（東京都／柳田尚）
副首都に手など挙げぬと言い放つ京都の矜持ちよつといいなあ（名古屋／浅井克宏）
秘密基地のごとく男ら集まれり庁舎の裏の喫煙場所に（吉野川／喜島成幸）
ランニングシャツにて実験せし夏の午後の三時の「泡立つ麦茶」（長野／原田浩生）前歌の煙
草も酒もわかつちやいるけどやめられない

見え隠れ大花野逝く岸恵子（塩尻／松井武石）
夏草や平和憲法ありし国（福島県伊達／佐藤茂）
羅臼町に於尋麻布（おたづねまつぶ）とふ漁港あり地図に見えねと思はず寄りぬ（名古屋／清水
芳洞）
8月の大切な日がぴんとこぬ世代に手渡す「6+9=15」（千曲／米沢光人）

毅然たる言葉はかくも美しき I C C 所長赤根智子氏（水戸／檜山佳与子）25年12月のロシアからの実刑判決に次ぎ、8月18日アメリカ財務省は制裁対象者に指定した。その際の名言——裁判官は仮に一人が死んだとしても替えが利くものですから I C C は決して負けません。正義は常にこれと対極にあるものに優越する、いや、優越しなければならない

熊本のすいかを食べる炎天の被災地思いて大事に食べる（奈良／山添聖子）奈良の西瓜も有名なが、あえて西瓜の日本一出荷量熊本産を味わい熊本の人々に寄り添う

激闘の甲子園にも涼新た初の女性の二塁の塁審（村上／鈴木正芳）108回大会で春夏通じて甲子園史上初めて女性審判員5名が起用された

百メートル9秒39の新記録出して壊れしロボット憐れ（五所川原／戸沢大二郎）

☆我が生の初の犯罪平和への思いをこめて日の丸を踏む（朝霞／岩部博道）8月13日に施行された国旗損壊罪。表現の自由や政治・芸術活動への萎縮効果に抗議しての象徴的エアー抗議行動

A I が主催の絶滅危惧種展ホモサピエンスがある近未来（箕面／大崎修子）笑えない現実味「○」ばかり描きし草間彌生さん名前の中に「×」を詰め込み（生駒／西澤淳子）〈彌〉の中に×が4つも

世界的前衛画家の水玉忌（葛城／山本栄子）

茶花なる屁糞葛（へくそかずら）の名哀れ（埼玉県宮代町／鈴木清三）赤紅色の小さな可愛い花を咲かせるのに気の毒な名前。地方によってはサオトメバナ（サオトメカスラ）とも呼ばれる。こちらの方が断然いい

アホウドリ 信天翁の身辺雑感

🍌 京王井の頭線高井戸駅の改札を出ると甘いバニラのような微かな香りが漂ってきた。改札横のサーティワン店とは反対方向の環八側からだ。ミスド店からかな…とっていると、駅前バス停に浴衣姿の相撲取りが並んで荻窪行きのバスを待っている。いい香りは力士の髪につける鬘付け油（梳き油）の匂いだった。高井戸駅近くの芝田山部屋（スイーツ好きの元横綱大乃国）の力士だ。秋場所が始まったのだ。序の口・序二段・三段目の下位の若い力士は、荻窪から両国の国技館までは中央・総武線1本で行けるのでバス・電車通勤だ。

🍎 その案内状は突然だった。高野山小・中学校の同窓生 Sa 院（袴腰造の山門と樹齢200年の高野槇で有名）住職の T 君からだった。中学校卒業以来まったく交流のなかった T 君からの封書。高3まで宗教都市・高野山で育ち、幼稚園（毎朝、「南無大師遍照金剛」を唱えるお勤めがあった高野山真言宗立の幼稚園）、小・中学校に大きな寺院の子女が7人（約100人中）同級生として在籍していた。その T 君が来年2月22日に法印職（事務検校執行法印）に就任するとのこと。高野山真言宗で弘法大師（空海）に仕える最高位の職で、一年間法会・儀式を執り行う。高野山の僧職にある者にとって最高の荣誉であり、晴れ舞台である。117の寺院はもちろんのこと町家の者にとっても6月15日の弘法大師生誕祭・青葉まつり同様の毎年恒例の行事である。その就任披露の式典（転衣式——黒衣より緋衣へ）が3月に金剛峯寺大広間（秀次自害の柳の間の並び）で挙行される案内であった。交信のない私にまで案内状を出すくらい山上の一大イベントなのだ。7名の同級生の広い寺院境

内は、100 畳の大広間、小堀遠州造園の庭園も含めて格好の遊び場だった。他の由緒ある寺の同級生と本堂の賽銭箱から得た小銭で駄菓子屋で奢ってもらったこともある。T 君は美声の持ち主だった記憶がある。彼の唱える声明（しょうみょう）を聴きたいものだと思わしく思った。

● その一方、高野山宿坊寺院脱税で摘発のニュースを複雑な思いで読んだ。最近では墓参で帰省しても高野山の宿坊には泊まらないで、大阪や奈良のホテルを利用することが多くなった。インバウンドの影響でびっくりするほど宿泊代が高くなっている。かつては各地からの信徒団体や関西地方の林間学校や大学の運動部合宿地として賑わっていたが、すっかり見かけなくなった。（1泊2食、1万円以下の料金設定だった）代わりに青い眼の外国人のグループが圧倒的に多い。かつては修行を兼ねた高野山大学の学生僧や寺男が宿泊客の接待をしていたが、今は板長を雇い精進料理に腕を振るい、温泉まで掘った宿坊もある。報道された So 院は旅行サイトで6万円（1人）とのこと。

● 郷里の話題をもう一つ。和歌山県九度山町の世界遺産・高野参詣道「黒河道（くろこみち）」でクマ被害にあったことが報じられ、通行止めになったとのニュース。空海が女人禁制の高野山から母のいる麓の九度山慈尊院に1か月に9回も会いに行ったので九度山と名付けられたという話が残っている。仏具の錫杖（しゃくじょう）は獣除けの役割もあったのだろう。（九度山は六文銭の真田屋敷、富有柿の産地としても知られている）「ミスターアマ野球」の称号を持つ杉浦正則さん（九度山中学校→橋本高校→同志社大学→日本生命）の故郷でもある。

● 新聞チラシはおたからや・大吉など芸人を広告塔にした買い取り業者のチラシが圧倒的に多い。同じような業者が乱立して商売として成り立つのか不思議に思っている。生命保険会社の CM も多い。家族に迷惑をかけたくない、葬式代くらいは残しておきたい…月々〇〇円から100歳まで安心のフレーズが繰り返される。東京の火葬代がべらぼうに高いこともやっとテレビで取り上げられるようになってきた。やれやれあの世に往くことも世知辛い世の中になってきた。物価高で喘ぐ年金生活者に、貯えを取り崩し、自助で何とかしろと丸投げの無為無策。公助=福祉の貧困以外何物でもない。毎週がシルバーウィークで、3日に1本ボトルを空け、本を読むかTVばかり観ている俺よ、ご同輩よ、——♪起て！ 飢えたるシルバーよ！ 今ぞ日は来たり 醒めよ我が同胞 暁は来ぬ……いざ闘わん いざ奮い立て いざ ああ～インタナショナル～我らがもの～（妄想酩酊老人の戯歌）

● 昨年は高知・石野さんの近く後免（ごめん）が舞台の「あんぱん」がブーム。今年は吾郎さんや山口東サークル所縁の岩国が舞台の「ブラッサム」だ。いきなり渡辺篤郎演じるモラハラ、フキハラ、パワハラの父親が出てきて、宇野千代の波乱万丈の人生、面白くなりそうだ。

● 柏市に住んでいたころは、東京駅にまで出店した zopf（ツOPP）が近くにあり重宝していた。早朝から行列ができる人気パン店だった。北烏山の近所に行列ができるパン屋さんがある（あった）。この週末も50人近くが並んでいた。その前のパン屋さんは、引っ越してきたころからあって塩パン・明太フランスがおいしかった。店主が健康面の理由で店を閉じ、ドンクで修業した若い夫婦が8年前から居抜いて店を開き行列ができる繁盛店にまでなっ

た。そのパン屋さんが9月で店を閉めて郷里の高知県に移転するという。今まで巔にきてきたパン屋さんが次々移転もしくは閉店して不便を感じている。パン屋さんの私の基準は、①ハード系のパン ②塩パン ③カレーパン が美味しいかどうかで決める。三鷹台駅前のパン屋さんが特に気に入っていたが、武蔵境通りへ移転して、車で買いに行くこともある。ハード系のオリーブパンと明太フランスとエピ、フロマージュはワインによく合う。井の頭公園近くのトーホーベーカリーの塩パンもいい。パンといえば京都の小村さんに柴漬けとともにいただく手作りパンは絶品で美味しくいただいた。(東海林さだおの「丸かじりシリーズ」風の文章になってきた) 今回の「身辺雑感」は文字通り身辺「半径50メートルのセカイ」になってしまった。



柿色の日本の日暮柿食へば (加藤楸邨)



この国の四季のやさしさ崩れゆくひそともれよ ミズヒキの紅 (福島市 美原凍子「朝日歌壇」再掲)

激動するもの

高村光太郎

さういふ言葉で言へないものがあるのだ
さういふ考え方に乗らないものがあるのだ

さういふ色で出せないものがあるのだ

さういふ見方で描けないものがあるのだ

さういふ道とはまるで違った道があるのだ

さういふ図形にまるで嵌(はま)らない図形があるのだ

さういふものがこの空間に充滿するのだ

さういふものが微塵(みじん)の中にも激動するのだ

さういふものだけがいやでも己を動かすのだ

さういふものだけがこの水引草に紅(あか)い点々をうつのだ

(出典:「高村光太郎全集」筑摩書房1994)

「道程」「ぼろぼろな駝鳥」とともに高村光太郎の芸術論

2026 明星学園公開研究会

★テーマ 子どもが“動き出す” “考えはじめる”授業づくり

★11月21日(土)8:45～16:30 受付開始 8:00

★公開授業 算数 社会 体育 美術・木工

1校時 8:50～9:35 「かけ算」他

2校時 9:50～10:35 「分数のかけ算」他

★全体会 講演:内田伸子さん(環太平洋大学教授 お茶の水女子大名誉教授 発達心理学 認

知科学 保育学 /NHK「おかあさんといっしょ」番組開発他 著書「発達の心理」「想像力」
他)

10:50～12:30(いちようのホール)

★分科会 算数 社会 体育 美術・木工(今年は国語分科会はありません)

13:30～16:30

会場 明星学園小・中学校井の頭キャンパス 〒181-0001 三鷹市井の頭 5-7-7

アクセス 「吉祥寺」駅より井の頭公園を横切って徒歩 15 分

京王井の頭線「井の頭公園」駅より徒歩 10 分

※申し込み等の詳細は明星学園小学校 HP をご覧ください。

【文芸研東京学習会 (BMS) 連絡先】上西信夫 ✉️→nobu.uenishi@outlook.jp

例会で取り扱う教材希望がありましたらメールでご連絡ください



🌸 今通信は草紅葉をイメージしての色に / 良寛のトメハネハラヒとんぼ飛ぶ(横浜 生田康夫/朝日俳壇)